

科目名	解剖生理学（栄養士必修：NR・SA 必修）				
授業形態	講義	学年	2		
開講時期	2023 年度 前期	単位数	2		
担当教員	漆谷 博志				
内容および計画	<p>栄養士として活躍する上で、人々の健康維持に貢献することは重要な役割である。そのためには人体の正常な構造や機能について、正しい基礎知識を身につけておく必要がある。また、栄養士は栄養指導や衛生管理などを通じ、医療現場などでもスペシャリストとして活躍することが求められることから、病理病態を理解するための基礎的な知識も重要となる。本講義では、栄養士としての幅広い活躍の場において役立つ人体に関する基礎を学んでいく。</p>				
1	人体の概要				
2	細胞・組織・恒常性				
3	運動系				
4	消化器系				
5	消化器系・神経系				
6	神経系・内分泌系				
7	内分泌系				
8	循環器系				
9	血液・体液				
10	免疫系				
11	呼吸器系				
12	泌尿器系				
13	感覚器系				
14	生殖・成長・老化				
15	まとめ				
<b>教科書</b>					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	人体の構造と機能【第5版】	内田さえ 佐伯由香 原田玲子 編集	医歯薬出版	9784263237212	2019
必要に応じて資料を配布する。					
参考書	<p>系統看護講座 人体の構造と機能[1] 解剖生理学、著者名：坂井建雄、出版社：医学書院          人体の構造と機能【第4版】、著者名：エレイン・N・マリーブ、出版社：医学書院          標準生理学【第9版】、著者名：小澤澗司・福田康一郎 監修、出版社：医学書院</p>				
<b>成績評価</b>					
	評価方法				割合(%)
	授業参加態度（提出物を含む）				30
	筆記試験				70

<b>学習到達目標</b>	栄養学に必要な生体を構成する要素や機能などについて、人体の構造と結び付けて理解し、わかりやすく説明できること。 授業で使用する教科書や参考書、配布する資料を利用し、予習・復習を行うこと。 授業から得られた知識などを、栄養士としての仕事や、日々の生活に役立てられること。
<b>先修条件</b>	
<b>実務経験</b>	
<b>その他</b>	